



ロータリーは機会の扉を開く

# 会報

2020 ▶ 2021  
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ  
会長目標

60年の歴史に敬意と感謝を  
そして、これから100年に  
向けての礎を築こう!

会長/辻本 哲也 幹事/燕 美雪

## プログラム

- 本日  
「来賓卓話」 留萌警察署長 松谷 剛氏
- 次週予定  
「来賓卓話」  
オロロンひまわり基金法律事務所  
弁護士 山村 晃一氏

会員誕生日  
福士 幸子

No. 2877

第12回 10月7日

出席報告

前例会

会員総数	27名
出免会員	3名
出免出席	3名
基準会員出席	18名
出席率	85.71%

前々々

第10回 9月16日

欠席会員	0名
内メイクアップ	0名
修正出席率	100%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F



## 会長報告

- 9月24日商工会議所議員会議室において、第4回定例理事役員会を開催しました。次年度理事役員指名委員会メンバーの決定、特別夜間例会の決算報告、10月例会プログラム、会計報告を承認致しました。
- 2021～2022年度地区補助金監理セミナーが11月14日に開催されます。高橋エレクトが出席予定です。

記念奨学事業豆辞典を皆様に配布いたしました。皆様ご一読いただき、10月の月間にはぜひご協力をお願いします。

- 公益社団法人米山梅吉記念館より、賛助会員入会のお願が届いております。ご希望の方は幹事まで連絡願います。

ゲスト

セブンイレブン 旭川北地区  
ディストリクトマネージャー 茅根 賢人様



## 幹事報告

- 芦別ロータリークラブより、8月9月会報と10月例会案内を受領しました。
- 砂川ロータリークラブより、10月例会案内を受領しました。
- 10月はロータリー米山月間ですが、本日米山



## 3分間情報

会員研修委員会

対馬 委員長

「ロータリーの地域雑誌」

既にご存知の方もいらっしゃると思いますが、ロータリークラブの会員はR Iの発行するザ・ロータリアンかR Iから許可された地域で発行

される雑誌を購読する事を義務づけられています。日本の地域雑誌であるロータリーの友も10月号が本日配付されましたが、この雑誌は数年一度、契約を更新されていますが、直近では昨年契約を更新しています。契約の内容については、年間6回以上発行する事が決められており、R Iが指定する記事を掲載する事、7月号の表紙には新R I会長の写真を掲載する事も義務付けられています。2020年には表紙の表題が変更されて、ロータリーのロゴが入るようになり、皆様お気付きになったと思いますが、9月号よりロータリーの友の字よりロータリーの文字が大きくなっています。世界共通で、全ての雑誌にロータリーのロゴを入れる事になりました。また、R Iの機関誌、ザ・ロータリアンもロータリーに変更になっております。これは6月の理事会で決定した事です。

また、来月10月24日を世界のポリオディとしていましたが、新型コロナの拡大が世界中に広がり、予防接種が困難な状況になった地域も出てきました。ロータリーはこのような困難にもめげずに、ポリオの根絶を目指して頑張っています。日本では、来月10月は米山月間になりますが、それについては次回の三分間情報にてお知らせいたします。



## ニコニコBOX.....

●茅根様ようこそ留萌ロータリーへお越し下さいました。本日はよろしくお祈いします。

辻本会長

●茅根様ようこそロータリークラブへ。本日はよろしくお祈いします。

燕幹事

●茅根DM、前田OFC、今日は卓話ありがとうございます。

渡邊会員

前 回 296,000円

今 回 4,000円

累 計 300,000円



## プログラム.....

### 来賓卓話「セブンイレブンの展望」

セブン・イレブン旭川北地区

ディストリクトマネージャー 茅根 健人様

本日はこのような場にお招き頂きまして、誠

にありがとうございます。私は現在、セブンイレブン・ジャパン旭川北地区に所属しております。セブンイレブン・ジャパンは全部で250のエリアに分かれておりますが、その中の旭川の北部、北地区を担当させていただいております。実は私は今年の3月に転勤で旭川に着任いたしました。本来生まれは神奈川県横浜市で、初めての転勤でこの旭川に来ました。留萌に来るのも初めてで、新しい地区で新しい仕事させて頂いております。私は高校まで野球をしておりまして、本日例会に出席している渡邊会員とも野球の話をして頂きました。高校卒業後大学を経て、セブンイレブン・ジャパンに入社し、今年で14年目になります。神奈川県横浜市にて仕事をして参りましたが、旭川に来る前は大田区蒲田で仕事をしていました。エリアとしては、羽田空港が入っている地区でエリアマネージャーとして働いておりました。旭川、留萌とまだまだ分からない事が沢山ありますが、皆様に教えを頂きながら頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお祈い致します。

セブンイレブンの概要という事で資料を使って説明させて頂きます。今現在セブンイレブンの店舗数は、全国に20,930店ございます。北海道も一昨年1000店となりましたが、やはり東京が2800店と一番多く店が展開しています。セブンイレブンは現在、日本だけではなく、全世界の出店を目指しており、現在17の国に70,750店舗を展開しています。一番多いのが勿論日本ですが、その次に多いのは実はタイなのです。その後が韓国となっています。現在アラブ首長国連邦やベトナムに出店を進めております。私はセブンイレブン・ジャパンとして来ておりますが、セブン&アイグループとして考えますと、イトウヨーカ堂、ファミリーレストランデニーズなど色々なグループが合わさり150社ほどが1つのグループになっています。グループ全体の売り上げは11兆9976億円で、日本のグループ約2万店の売り上げでは約5兆円の売り上げを上げさせて頂いております。セブンイレブンのお客様構成比を見て頂ければわかりますが、2007年では高齢者50歳以上の方のご利用が20%でしたが、2019年度では47.5%と約半数の方が50歳以上となっており、たった12年の間に大きく利用客が変化しているのがわかります。

社会環境の変化を見据え、セブンイレブンから生まれた「当たり前」についてお話いたしますと、セブンイレブンが1974年に東京の豊洲に1号店を出店致しました。ここから46年を経て現在に至りますが、1974年に出店し、1975年に24時間営業をスタートしております。1978年に初めておにぎりが発売され、現在1店舗あたり約200個前後が販売されています。当時はおにぎりは家庭で作る物とされてきましたので、初めは1店舗で10個も売れなかったと聞いています。1982年に世界で初めてレジにてバーコードによる会計を始めさせて頂き、2001年にATM導入、銀行をスタートさせました。流通業・小売業に携わっている私達ですが、やはり銀行があった方が良くというお客様の声で、グループ内にも反対がありましたが銀行業にも進出させて頂きました。2007年になるとセブンプレミアム商品の取り扱いを始め、2013年には皆様に沢山ご利用頂いているセブンカフェ、コーヒーの販売をさせて頂きました。今当たり前のように取り扱っている商品はその時、その時のお客様のニーズに合わせて必要な物をご提案させて頂くという形で、取り組まさせて頂いております。我々は本日、本部から来ておりますが、2万店のオーナーさんとはお互いにやるべき事をやっていくという共同事業になっており、お店のオーナー様にお願いしていますのが、商品のマネジメント、商品の品揃えですとか、発注、人の採用や教育、人のマネジメント、経営数値のマネジメントという事で、経営管理をオーナーさんにやって頂く、このオーナーさんが万全な店舗経営をして頂くために、我々本部が商品開発をしたり、色々なアドバイスをさせて頂く、昨日のテレビで商品の取り扱いを紹介させて頂きましたが、広告宣伝も本部の仕事になっております。

本日帯同しているフィールドカウンセラーの前田ですが、セブンイレブンには1店1店にカウンセラーが付きます。お店に対する経営アドバイスやサポートをさせて頂くのですが、1人あたり8店舗を担当させて頂いて、お店の品揃えや従業員さんなどのアドバイスをさせて頂いております。1974年の出店以降、その時のニーズに合わせた商品の展開ですとか、サービスの提供などをさせて頂いてきましたが、今後求め

られる物として、やはり人手不足などがあり、人が少なくても営業ができる、例えば清掃の回数が減らせるとか、人が減らせる設備等、色々と導入を進めている所でございます。直近ですと、今までお店には無かった食洗器です。揚げ物など店内で色々な物を調理していますので、清掃で今までは大変時間がかかっておりましたので、これらの事も一部エリアから始めさせて頂いております。お客様からここにお店を出してほしいと要望が来ますが、欲しい所に欲しいお店という事で出店を考えています。例えば駅中、空港の中などの出店、大学など公共施設への出店なども進めています。まだ旭川にはありませんが、おにぎりの自動販売機、サンドイッチの自動販売機なども取り扱えるよう、ビル中に設置を考えたりもしています。お店をサポートをさせて頂くという事から、今まで従業員さんの教育はお店の役割分担の中で話されておりましたが、やはり人が居ない中でなかなか教育が進まないという事で、従業員さんの接客を教育する、レジ使い方などをアドバイスさせて頂くというようなサービスもさせて頂いております。また、外国人さんの従業員も増えていきますので、外国人従業員専用の境域のコースも作らせて頂いております。現在人手不足の関係で、セブんなないろ保育園という物を立ち上げ、セブンイレブンで働くご婦人でお子様を預けられる施設も展開しております。セブンイレブンに勤務されていると保育料が通常の半額になるなど、人手不足に対応した環境も整えております。現在人手不足や設備の増強も重要ですが、セブンイレブンの力は商品力であり、セブンの力の強さは商品だという事で、商品にも大変こだわっております。セブンイレブンの定番こそ一番だと思われそうですが、セブンイレブンの商品の強さは、専用工場比率の高さで92.8%となっており、セブンイレブンの商品を作っている工場の約93%がセブンイレブンの商品だけを作っております。他のチェーンですと、商品の専用工場比率は3割から4割位と言われております。つまりそれ以外の工場は、例えばAラインでセブンイレブンの商品、Bラインで違うスーパーさんの商品を作ったりしている工場、93%の工場がセブンイレブンの商品を専門に作る工場となっておりますので、工場も設備投資をセブ

## 第11回 9月30日(水) 天候/晴

---

ンイレブンのためにして下さる、セブンイレブンだけの商品を作って頂いているので、セブンイレブンの望むような設備を入れて頂いており、ある意味、我々の我がままですが、作りたい商品を作るために工場にも協力を頂きながら商品を作る、このような事で我々が作りたい商品をお客様にご提供していきたい商品を作らせて頂いております。

フレッシュフードの底力という事で聞いた事があるかもしれませんが、我々コールドチェーンという物を使っており、産地からお客様の手元に届くまでの間、一定の温度を保って運ぶシステムで、サラダやサンドイッチなどがそうなんですけども、産地で野菜を採る所から、工場に運ぶまで、工場からお店に運ぶまで、ずっと5度以下のトラックで輸送し、商品の劣化を防いでおります。そして、皆さんの手元により新鮮な形で商品が届く工夫をしています。

社会インフラとしてのセブンイレブンという取り組みを進めて、暮らしのサービスを考え取り組んでいます。現在4人に1人がシニア層の割合となり、働く女性の割合も4人の内3人が働いている状況で、なかなか料理をする時間が無いという事で、お届けサービスを考え、セブンミールやセブンイレブンらくらくお届け便という事で、お店から商品をお届けさせて頂いております。今新たに東京でスタートをしていますが、注文からある一定の時間を設け、1時間とか2時間で商品をお届けするサービスの提供も進めております。

これからセブンイレブンが未来永劫商売をしていくために、社会のインフラとして機能していくために、我々は5つの重点課題に取り組んでおります。第1が高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供。第2が商品や店舗を通じた安全安心の提供。第3が商品原材料エネルギーの無駄のない利用。第4に社内外の女性、若者、高齢者の活躍支援。第5にお客様、お取り先を巻き込んだエシカルな社会づくりと資源の持続可能性向上という事で、この5つの課題に対して、例えば1つ目の高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供であれば、セブンイレブンは、お届けサービスや各種サービスの提供という事で、公共料金の収納代行サービス、セブン銀行のATMの設置を進めていきます。商品や店舗

を通じた安全・安心の提供としては、お店の皆様にご協力を頂いておりますが、セーフティステーションとしての機能強化を進めています。商品原材料のエネルギーの無駄のない利用では、省エネ設備の導入やペットボトルの回収機を入れて、再利用を進めて参ります。4つ目の社内外の女性、若者、高齢者の活躍支援という事で、先ほど話した、なないろ保育園や高齢者向けお仕事説明会、セブンイレブンで働いてみたいがなかなか難しそうだという事で、どんな事をしていくのかという事を説明会で判りやすく説明をさせて頂いております。

また、セブン&アイグループではグリーン・チャレンジ2050という事で、環境問題に取り組んで行こうと思っています。第1に、二酸化炭素の削減。これだけの店舗数になりますと排出量も多くなりますので、2030年の目標として30%、2050年度の目標としては80%以上の削減を目標として取り組んでいきます。2つ目のプラスチックについては、2030年には今の使っているプラスチックを50%、2050年度には100%使わないようにしようとしています。3つ目の食品ロスについては現在、非常に問題になっております。2030年度には50%、2050年度には75%の削減目標を掲げ、食品廃棄物のリサイクル率を2030年には70%、2050年には100%を目指してリサイクルをさらに推進していきます。これからは持続可能な食品調達を目指して、お客様に安心・安全・便利で環境に配慮された商品を提供し、持続可能が担保された食品原材料の利用を増やしていきます。我々は1974年の出店から色々な事をさせて頂きました。出店から46年間で色々な事に取り組ませて頂きました。まだまだ進化の途中だと思っておりますので、逆に店舗が増えるによって社会に与える影響や課題も大きくなってきています。反省も含めて色々目標を持ちながら、今後も社会貢献・地域発展を目指して進めて参りたいと思っております。これからもセブンイレブンをよろしくお願い致します。本日はお招きいただき、ありがとうございました。